

奈良体育学会会報

第91号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良女子大学 生活環境学部 石坂友司研究室（〒630-8506 奈良市北魚屋西町）
<https://nspehss.org/> narajimukyoku@nspehss.org

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 松井 良明（奈良工業高等専門学校）

紅葉の候、会員の皆様には、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。早いもので、ウィズコロナの生活も3年が経過しようとしていますが、その一方で、今秋は運動会や体育祭等の行事がようやく再開された場所も少なくないようです。第8波の懸念も取り沙汰されていますが、十分な対策を行いながら、多くの方々がスポーツや運動を楽しむ機会を取り戻していければと願ってやみません。

さて、会員の皆様におかれましては、日頃より奈良体育学会の活動にご理解並びにご協力を賜り、まことにありがとうございます。本学会では、前年に引き続き、対面方式での学会大会の開催を計画しています。今年度は、11月19日（土）に奈良女子大学の施設をお借りして学会大会を実施いたします。今回は一般発表に加え、今年度をもって定年を迎えられる井上洋一先生（奈良女子大学）に「スポーツ法学の発展とともに」というテーマで特別講演を行っていただくことになりました。井上先生は日本を代表するスポーツ法学のパイオニアであり、奈良体育学会の会長も経験されました。貴重なお話が伺えることと思います。

また、シンポジウムでは、早坂文吉先生（天理大学附属天理参考館）、井上さやか先生（奈良県立万葉文化館）、小池弘悌先生（葛城市相撲館けはや座）にご登壇いただき、「奈良のスポーツ遺産について考える」というテーマで話題提供をお願いしています。奈良のスポーツ遺産とその広がりや今後の保存活動における展望などについて、学会として共通理解を深めたいと考えています。県内3つの機関の関係者が一堂に会する機会は初めてかもしれません。会員の皆様にはぜひ会場に足をお運びいただき、一般発表、特別講演、シンポジウムに参加していただければと思います。

なお、本来であれば、大会終了後には演者及び会員の交流を兼ねて懇親会を開くのが恒例ではあるのですが、現在も新型コロナウイルス感染症の終息が見られないため、今回も見送らざるを得なくなりました。

以上、簡単ではございますが、学会大会開催に向けての会長挨拶とさせていただきます。それでは、皆様と会場でお会いできるのを楽しみにしております。

令和4年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日： 令和4年11月19日(土)

会 場： 奈良女子大学 G棟 201 教室（奈良県奈良市北魚屋西町）

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。お車で奈良女子大学への入構は禁止とさせていただきます。

※万が一、新型コロナウイルス感染の急拡大等により施設使用が不可となった場合は、ご登録いただいております電子メール、ホームページで開催の変更等をご連絡させていただきます。

共 催： 奈良女子大学(健康なら 21Step アップ事業)

<ご参加いただく方へ>

参加費：一般 1,000 円、大学院生等 500 円、学部生 無料

事前参加申込期限：令和4年11月11日(金) 17:00 ※当日参加も受け付けます。

☞ 学会大会事前申込ページ <https://nspehss.org/taikai/taikaiform>

☞ 令和4年度奈良体育学会大会専用メールアドレス(事務局お問い合わせ用)
2022taikai@nspehss.org

☞ 郵便振替・口座番号： (当座) 01000-2-28169 <加入者名：奈良体育学会>

※事前登録参加、当日参加にかかわらず、必ず正門を通過し、入校時受付(守衛室前)、及び参加受付(G棟 201 教室入口)をお済ませのうえ、会場へお入りください。

大会プログラム

- 12:00～ 受付 (G棟 201 教室入口)
- 12:30～13:00 令和4年度奈良体育学会総会
- 13:00～13:30 一般発表
- 13:30～14:30 特別講演
- 14:45～16:45 シンポジウム (一部公開)



学会大会事前申込ページ
QRコード

<発表者の方へ>

・発表形式はすべて口頭発表とします。会場のPC(Windowsのみ)をご使用の方は、USBメモリ等でデータを持参していただき、出来る限り一般発表開始前にファイルをPCにコピーし、ご自身で動作確認を行ってください。コピーされたデータは学会大会終了後に直ちに消去します。ご持参のPCをお使いになる方は、HDMI経由での映写となります。Macintoshをご使用の場合は、PCをご持参ください。

・動画等を使用される方は、必ずご持参のPCにてご発表ください。なお、ご自身・会場のPCに限らず動画やアニメーションについての動作・映写等の保証は致しかねます。動画・アニメーションをお使いになる方は、正しく再生されなかった場合の対応をご準備ください。

・発表原稿をご使用される方は、念のためプリントアウトしたものをご持参ください(「発表者ツール」使用不可の場合のご対応です)。

・発表時間は15分、討論時間は10分です。円滑な進行のため、発表時間は厳守してください。

・発表開始後14分に1鈴、15分(発表時間終了時)に2鈴、討論時間終了時に3鈴の合図をします。

・奈良体育学会研究年報掲載用抄録の提出をお願い致します【必須】。

令和5年1月27日(金) 17時〆切です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット: <https://nspehss.org/kenkyu-nenpo>

<一般発表> 13:00～13:30 (発表時間 15 分、討論時間 10 分)

座長 石坂友司 (奈良女子大学) 13:00～13:25

中学生硬式野球団体の研究:スポーツの制度化の概念に着目して

○大林遥介 (奈良教育大学教職大学院)、高橋豪仁 (奈良教育大学)

キーワード: 中学生、硬式野球、スポーツの制度化

要旨: 本研究では、まず、菊 (1993) の定義を用い、スポーツを制度として捉えた。さらに、この定義をもとに分析項目として4つの局面を設定した。その後、中学生硬式野球5団体の詳細の検討を行い、分析項目に当てはめ特徴の整理、比較を行なった。

<特別講演> 13:30～14:30 (講演時間 45 分、質疑時間 10 分)

井上 洋一 (奈良女子大学)

テーマ: スポーツ法学の発展とともに

<シンポジウム> 14:45～16:45

テーマ: 奈良のスポーツ遺産について考える

趣旨: 京都より長い歴史を持つ「奈良のスポーツ遺産」とはどのようなものなのか。本学会は日本体育・スポーツ・健康学会の地域協力学会でもあり、多くの会員が「奈良」にゆかりのある研究者や教育者である。長い歴史を持つ奈良に関わりのあるスポーツ遺産や「地元奈良」に存在するスポーツ遺産に着目し、その広がりや学術的な意義を探ること、またその内容を学術情報として広く共有することは、学会員だけでなく、本シンポジウムの共催である奈良女子大学「地域連携事業・健康なら 21Step アップ事業」の参加者にとっても、今後の研究・教育・普及活動の促進につながるのではないかと考える。

シンポジウムでは、人類学や考古学の観点から貴重な「スポーツ遺産」を所蔵されている天理大学附属天理参考館、「古代万葉学」の研究拠点としても知られる奈良県立万葉文化館、そして県内で唯一の「スポーツ博物館」ともいえる葛城市立相撲館けはや座の関係者を招いて議論を行いたい。

3つの機関と「奈良の『スポーツ遺産』」との関連は概ね以下のとおりである。

- ・天理大学附属天理参考館: 世界の生活文化と考古美術の博物館である。2020年に創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」を開催し、そこでは同館に収蔵されているスポーツ関連資料の展示が行われ、図録も出版されている。
- ・奈良県立万葉文化館: 万葉のふるさと・奈良にふさわしい「万葉集」を中心とした古代文化に関する総合文化施設として2001年に設立され、昨年、20周年を迎えた。展示室のほか、万葉図書・情報室では約15,000冊を所蔵している。周知のように、万葉集には古代万葉時代の文化や生活を背景とした歌があり、娯楽やスポーツに関する情報が得られる。
- ・葛城市相撲館「けはや座」: 葛城市は相撲の開祖「當麻蹶速」伝説が古くから語り継がれている。相撲の普及活動と伝承を継承する目的で1990年に設立された。2年前に30周年を迎え、『葛城市相撲館けはや座』と題する図録を刊行した。収蔵する書籍、雑誌、番付表等は8,000点に及ぶ。また、館内には土俵があり、相撲甚句の公開練習等にも利用されている。

シンポジスト:

早坂 文吉 (天理大学附属天理参考館海外民族室・学芸員)

井上 さやか (万葉文化館企画・研究係長)

小池 弘悌 (葛城市役所産業観光部商工観光プロモーション課 (葛城市相撲館) 課長補佐)

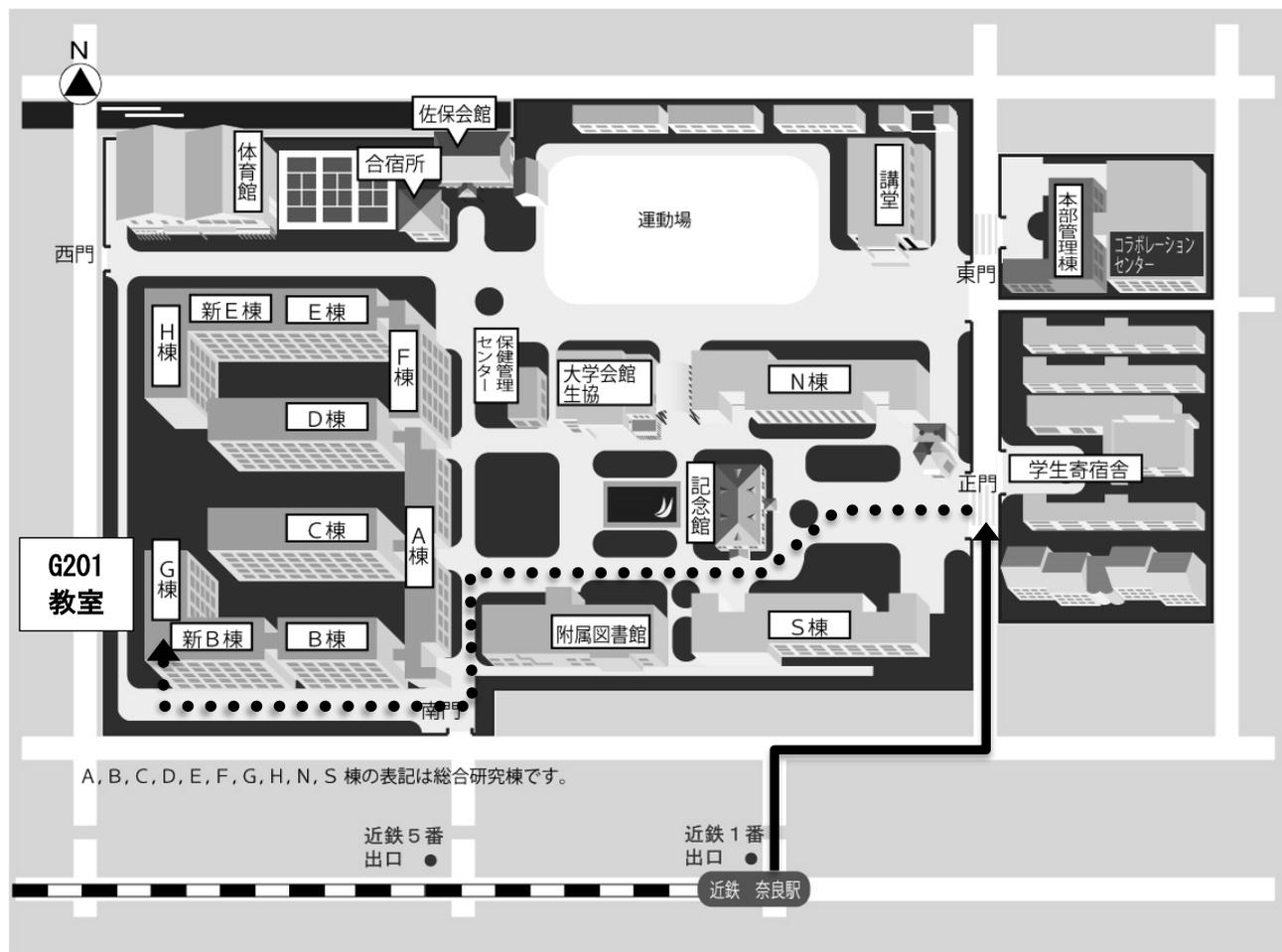
コーディネーター:

松井 良明 (奈良工業高等専門学校)

以上敬称略

奈良女子大学へのアクセス

近鉄奈良駅（1番出口）からマップ内の実線（—）で示した経路を進み、徒歩5分です。
正門からお入りください。大学構内マップ内の点線（…）で示した経路を進み、G棟の入口から入って2階にお上がりください。



奈良体育学会事務局よりお知らせ

【重要】メールアドレスご登録のお願い

今後、学会からのお知らせは、原則として電子メールによる配信とさせていただきます。これまでに数回メールをお送りしていますが、いずれも届いていない方につきましては、別途、学会 HP から、または直接、学会事務局 (narajimukyoku@nspehss.org) まで、必ずメールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格を持つ者に限ります。研究年報は学会ホームページにおける電子データでの提供とし、配布を行わないこととさせていただきます。会員の皆さまのご理解とご協力をいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

閲覧のためのパスワードは「arnara」となっております。会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。また、**研究年報巻末に記載の学会活動(会報)、会則、内規等**につきましても、**今後は学会 HP にて閲覧していただく予定です。**

締切：令和 5 年 1 月 27 日(金) 17 時

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 奈良女子大学 石坂友司宛 (E-mail: narajimukyoku@nspehss.org)

<誌上発表論文書式>

*A4 用紙、40 字×40 行、一段組、図表ともで 4~6 枚、上下左右の余白を 20mm としてください。(詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

*原稿は Word とそれを PDF 形式で保存した 2 種類のファイル(Word と PDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則として PDF ファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示が必要な方につきましては、PDF 版においてはカラーでの掲載が可能ですが、国立国会図書館等に収蔵する冊子版については原則としてグレースケールでの掲載となりますので、ご承知おきください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育・スポーツ・健康学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

<発表抄録書式(今年度の大会発表者用)>

用紙 A4 で 1 枚(図表込み)、本文は 2 段組でお願いします。文字フォントは、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード(9 ポイント)を所属と本文の間に 3 語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記の URL にあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は<誌上発表論文書式>と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット: <https://nspehss.org/kenkyu-nenpo>

日本体育・スポーツ・健康学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和 4 年度の年会費をお納め下さい。年会費は 1,500 円です。なお、2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会扱いとさせていただきます。

【年会費振込先】郵便振替・口座番号: (当座) 01000-2-28169 <加入者名:奈良体育学会>